

経営学部で学ぶ感性

〈出題内容・形式・配点〉

内容	形式	配点	試験時間
I 論述	記述	40	120分
II 論述	記述	30	
III 論述	記述	30	
合計		100	

【出題の基本方針】

例年同様、経営学部で学ぶうえで期待される、「知的好奇心」、「観察力」、「洞察力」、「発想力」を評価し、併せてそれらを他者に伝える「文章表現力」も評価することを出題の基本方針とした。

【学習のポイント】

① 知的的好奇心と問題意識を持つ

普段から様々な事象に興味を持つと同時に、それは何を意味するのか、また自分ならそれをどう捉えて解決したり発展させたりするのか、を意識することが大切である。

② 感受性を磨く

教科の学習はもちろん、人々との交流など自由な活動に積極的に取り組むことが、未知の事象への関心を高める。また、経営学は日常生活に密着している学問であるので、日頃から身近な事柄に対する経営（ビジネス）的視点を持つことを心がけてほしい。

③ 自分なりの考え方

一般的な知識や日常の経験をそのままにせず、学習・読書・対話などを通じて省みる。そうすることがステレオタイプな見方や通念と自分自身の考えなどを相対化し、知識や経験を深めることにつながる。

④ 文章を構成し表現を工夫する

一定の分量の内容をわかりやすく伝えられなければならない。単なる感想文にとどまらず、主体的に問いを立てて考察していく姿勢を身に付けてほしい。表現の基礎技能の習得と、自由な読書が基礎となる。漢字使用や表現法についても適切さが要求される。

⑤ 独自性を持つ

あなたの独特の感性が問われている。この特徴をよく理解して本試験に臨んでほしい。

以上をまとめると、日頃から、世界をよく観察し、その背後にある物事の本質をとらえる努力をするとともに、考えたことを、理解しやすい文章にまとめ、判読可能な字（楷書）で表記する練習をしておくことが、本試験で高得点を得る近道であろう。つとめて文化・芸術に親しみ、幅広く読書をすることをお勧めしたい。